

令和 3 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大宮小学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

運営に関する計画の最終評価から、コロナ禍であっても学校が色々な取り組みや体験活動を工夫して進め、学力や体力等様々な面で成果が出ていることがよく分かった。また、様々な取り組みや行事をホームページや学校だより等で積極的に発信ができている。今後も引き続き大宮小学校の子どもたちにために引き続きぜひお願ひしたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現**【全市共通目標】**

- 令和 3 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。(29 年度 94.9%、30 年度 97.2%、令和元年度 86.9%、令和 2 年度 100%)
- 令和 3 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80% 以上にする。(29 年度 79.3% 30 年度 78.3%、令和元年度 86%、令和 2 年度 87.1%)
- 令和 3 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。(29 年度は 0 件 30 年度は 0 件、令和元年度 0 件、令和 2 年度 0 件)
- 令和 3 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。(29 年度は 3 人 30 年度は 1 人、令和元年度 5 人 (1.2%)、令和 2 年度 6 人 (1.4%))

【学校の年度目標】

- 令和 3 年度末の本校アンケート調査で、いじめ、規則の遵守や自己肯定感、社会貢献に関する次のそれぞれの項目について、全学年とも、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を以下のとおりにする。
 - ・「いじめはどんなことがあっても許されないと思う」 …100% (令和 2 年度 97%)
 - ・「人の気持ちが分かる人間になりたい」 …80% (令和 2 年度 96%)
 - ・「学校のきまり・規則を守っている」 …85% (令和 2 年度 90%)
 - ・「自分にはよいところがある」 …80% (令和 2 年度 88%)
 - ・「人の役に立つ人間になりたい」 …85% (令和 2 年度 96%)
- 令和 3 年度末の本校アンケート調査で、「学校は生命や人権の尊さについての教育活動をよく行っている」いう項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を 90% にする。(29 年度は 89% 30 年度は 93%、令和元年度 92%、令和 2 年度 95%)
- 令和 3 年度末の本校アンケート調査で、「お子さまは、学校や家庭・地域などで、地震や火災などの非常災害が起こったとき、どう行動したらよいかわかるようになっていますか」の項目について、「思う（だいたい思う）」と回答する保護者の割合を 80% 以上にする。(29 年度は 65% 30 年度は 78%、令和元年度 72%、令和 2 年度 77%)
- 年度末の本校アンケート調査で、「学校は、多様な体験活動を実施している」の項目について、「思う（だいたい思う）」と回答する保護者の割合を、85% 以上にする。(29 年

度は94% 30年度は97%、令和元年度97%、令和2年度91%)

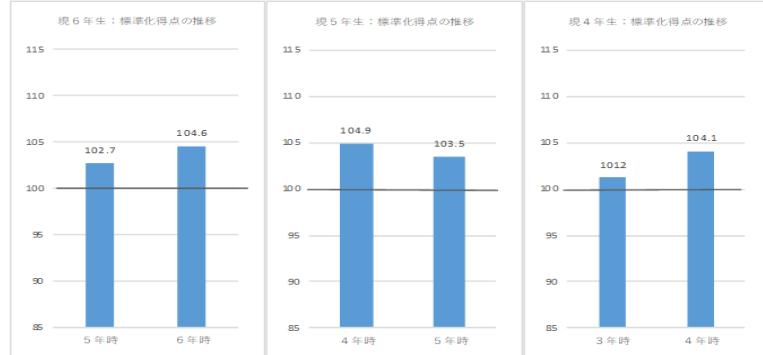
年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

【全市共通目標】

- 令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

【旧6年生：標準化得点の推移】

H29 3年時	H30 4年時	R1 5年時	R2 6年時
99.7	99.1	102.7	104.6



【旧3年生：標準化得点】

R2 3年時
102.3

- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。

- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。

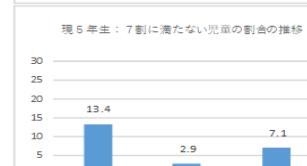
【旧6年生：市平均に対する児童の割合の推移】

	H29 3年時	H30 4年時	R1 5年時	R2 6年時
7割に満たない	12.5	20.2	10.9	5.4
2割以上上回る	22.6	27.1	34.5	46.4



【旧5年生：市平均に対する児童の割合(%)の推移】

	H30 3年時	R1 4年時	R2 5年時
7割に満たない	13.4	2.9	7.1
2割以上上回る	39.3	47.1	38.6



【旧4年生：市平均に対する児童の割合(%)の推移】

	R1 3年時	R2 4年時
7割に満たない	11.3	4.8
2割以上上回る	25.8	47.6



【旧3年生：市平均に対する児童の割合(%)】

	R2 3年時
7割に満たない	5.1
2割以上上回る	37.3



- 令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。(29年度は65% 30年度は85.3%、令和元年度56.9%、令和2年度74.1%)

- 令和3年度の校内の運動調査において、ここ数年の全国体力・運動能力、運動習慣調査の

課題である、50m走と立ち幅跳びの平均の記録を、各学年1度目に測った時より50m走は0.3秒、立ち幅跳びは5cm向上させる。(令和元年度0.23秒向上、令和2年度0.52秒向上)

【学校の年度目標】

- 令和3年度末の大阪市学力経年調査で「国語の学習で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いている」児童の割合を、前年度より増加させる。
(29年度は66% 30年度は73.3%、令和元年度76.5%、令和2年度74.9%)
- 令和3年度末の大坂市学力経年調査で学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30分より少ない」と答える児童の割合を減少させる。(29年度22% 30年度20%、令和元年度13.4%、令和2年度14.9%)
- 令和3年度末の本校アンケート調査で、ICTの活用、英語(外国語)教育、プログラミング教育など新しい時代に対応した教育に関して、それぞれ「楽しい」「もっとしたい」の項目について、「当てはまる(だいたい当てはまる)」と回答する児童の割合を、それぞれ85%以上にする。(29年度どの項目も90%以上、30年度英語78%、ICT93%、プログラミング96%以上、令和元年度英語84%、ICT92%、令和2年度英語84%、ICT95%)
- 令和3度末の本校アンケート調査で、「『早寝、早起き、朝ご飯』を実行している」の項目について「当てはまる(だいたい当てはまる)」と回答する児童の割合を、75%以上にする。(29年度は81% 30年度は78%、令和元年度76.8%、令和2年度より「早寝早起き」に変更79%)

【その他】

- 教育活動の透明化、学校改善の見える化を図り、令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を90%以上を維持する。(29年度98%、30年度98%、令和元年度98%、令和2年度98%)

- ・ここ数年、学力の結果が上がってきているのは、大変すばらしく、とてもうれしい。これまで学力向上に向けて教職員が継続して取り組んできた大きな成果だと思う。今後も引き続き、学力向上に向けた取り組みを続けてほしい。
- ・体力向上については、成果と課題があると思う。結果の分析を行い、今後の体力向上への取り組みに期待している。学校の授業や休み時間だけでは、限界もあると思う。学校と地域、子ども会等が連携をして、体力向上のためにともに協力しながら取り組んでいくことも大切だと思う。
- ・「運動能力」以前に、「運動に対する興味」自体が希薄になっているのではないかと感じる。低学年が「携帯ゲーム機やスマホで自由に遊び始める前」の時期から保護者や友だちと一緒に楽しく体を動かすことに親しむ必要があると思う。
- ・けがの予防も大事だが、今の子どもたちには、もっと活発に運動をしてほしいと思っている。けがの予防とともに、積極的に運動していくような指導もお願いしたい。
- ・不登校対応が難しい場合は、学校だけで解決するのではなく、関係諸機関や大阪市のしかるべき部署に対応してもらうことも必要だと思う。

3 今後の学校園の運営についての意見

【安心・安全】【学力・体力の向上】【教育環境の改善】への目標設定を明確にして、取り組みを焦点化して今後も引き続き取り組んでほしい。地域も学校のためにできることは連携していくきたいと考えている。今後も、地域に根差した伝統ある大宮小学校として、充実した教育活動を展開してほしいと期待している。